

## 令和元年生駒市立病院管理運営協議会第1回会議会議録

- 日 時 令和元年7月23日（火）午後8時00分から午後9時20分
- 場 所 生駒市立病院7階 講堂・交流センター

### ■ 出席者

- (1) 会 員 小紫 雅史、遠藤 清、城谷 学、山上 正仁、佐野 いづみ、森岡 文夫、下山 悟志
- (2) 事務局 【生駒市】山本副市長、古川特命監、影林福祉健康部長、田中福祉健康部次長、石田地域医療課長、桐坂地域医療課長補佐、伊藤地域医療課主幹、奥野病院事業推進係主査  
【指定管理者】岸田事務部長、吉松総務課長、辻川看護部長

- 欠席者 3名
- 傍聴者数 1名
- 会議の公開・非公開の別 公開
- 会議の内容

### 1 開会

**【事務局(市)】** それでは定刻になりましたので、ただいまから「令和元年度生駒市立病院管理運営協議会第1回会議」を開催いたします。

本日は過半数の会員にご出席いただいておりますので、「生駒市立病院管理運営協議会要綱」第6条第3項の規定により、会議は成立しております。

また、同要綱第7条の規定により、本会議は公開としております。

本日の会議では、会議録作成のため録音させていただきますので、ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、次に、本日の配付資料について確認させていただきます。

1. 会議次第、2. 生駒市立病院管理運営協議会要綱、3. 会員名簿、4. 平成30年度生駒市立病院実施状況調査報告書（案）の4点になります。

なお、実施状況調査報告書につきましては、会員様に事前配付しております報告書の文言等に若干の修正箇所がありましたので、改めて配付させていただきました。全ておそろいでしょうか。

### 2 会員の紹介

**【事務局(市)】** それでは本日が第3期目初めての会議でございますので、次第2としまして、会員の皆様をご紹介させていただきます。

会員の任期は、要綱第4条第1項で「協議会への参加を依頼した日から、その日の属する年度の翌年度の末日まで」と規定しておりますので、今期は令和2年度末までとなります。

また、要綱第5条で「会長は市長、副会長は市立病院の院長をもって充てる」と規定しております。

それでは、ご紹介申し上げます。

会長の小紫雅史市長でございます。

**【小紫会長】** 改めまして、第3期目になりますが、よろしくお願ひいたします。いつもありがとうございます。

**【事務局(市)】** 副会長の遠藤清院長でございます。

**【遠藤副会長】** 生駒市立病院の遠藤です。よろしくお願ひします。

**【事務局(市)】** 医師会等医療従事者としまして、一般社団法人奈良県病院協会理事で、近畿大学奈良病院院長城谷学様でございます。

**【城谷会員】** 近畿大学奈良病院の城谷でございます。どうぞよろしくお願ひします。

**【事務局(市)】** 一般社団法人生駒市医師会副会長山上正仁様でございます。

**【山上会員】** 医師会の山上でございます。よろしくお願ひいたします。

**【事務局(市)】** 公募市民としまして、佐野いづみ様でございます。

**【佐野会員】** 佐野いづみと申します。よろしくお願ひいたします。

**【事務局(市)】** 本日は欠席されておりますが、成田研二様、前野見依子様でございます。続きまして、市自治連合会を代表する者としまして、生駒市自治連合会会長森岡文夫様でございます。

**【森岡会員】** 森岡でございます。よろしくお願ひいたします。

**【事務局(市)】** 地元自治会を代表する者としまして、東生駒自治会会長下山悟志様でございます。

**【下山会員】** 下山悟志と申します。よろしくお願ひいたします。

**【事務局(市)】** 本日は欠席されておりますが、東地区自治連合会会長藤澤清二様でございます。

以上、10名の皆様でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

引き続きまして、4月1日付の人事異動により新たに事務局に加わりました職員の紹介をさせていただきます。

福祉健康部次長田中明美でございます。

**【事務局(市)】** 田中でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 3 会議の趣旨

**【事務局(市)】** 会議次第3、「会議の趣旨」について、事務局からご説明申し上げます。

**【事務局(市)】** 会議の趣旨につきまして、事務局から説明をさせていただきます。

今期最初の会議でもあり、新たにご参加された会員の方もおられますので、お手元にあります生駒市立病院管理運営協議会要綱を見ながらご説明をさせていただきます。

本管理運営協議会につきましては、市と指定管理者で締結しております「生駒市立病院の管理運営に関する基本協定書」の第25条に、「病院の管理運営に市民等の意見を反映させるため、市及び指定管理者は当協議会を設置する」とうたわれております。この基本協定の内容に沿いまして本協議会要綱を制定させていただきました。

協議会要綱ですが、第1条の「趣旨」で、市立病院の管理運営に市民等の意見を反映させることで、健全な管理運営及び市民参加の病院を実現することを目的とするとしております。

次に、第2条において協議会に「意見等を求める事項」としまして、病院事業計画の実施状況に関する事、協定書に定める事業計画及び事業報告に関する事、市民等からの意見及び提案に関する事、その他管理運営に関する事と規定しております。

本日の会議におきましては、5月末日に指定管理者から提出を受けました平成30年度事業報告につきまして実施状況調査を市事務局で行わせていただきまして、その調査結果についてご報告をさせていただきます。会員の皆様方から評価、課題、そしてその課題解決に向けた具体的な取り組みなど、それぞれのお立場や目線からさまざまなご意見、ご提案をいただき、令和2年度、来年度の事業計画に反映させていただくというスキームになってございます。

次に、第6条の「協議会の会議」ですが、本協議会は基本的に年3回を予定しております。本日の次の会議で令和元年度の上半期事業の中間報告について実施状況調査を行った結果につきましてご意見、ご提案をいただきます。その後3回目におきまして、本日と次回の2回の報告に係る実施状況調査結果を盛り込みました令和2年度の事業計画について皆様方のご意見をいただくという流れになってございます。

簡単ではございますが、管理運営協議会の設置の趣旨、役割、流れについては以上でございます。

**【事務局(市)】** 以後の進行につきましては、要綱第6条の規定により、会長が議長となります。小紫市長、よろしくお願いたします。

#### 4 案件

**【小紫会長】** それでは皆様、改めましてこんばんは。当協議会も3期目に入りますが、その第1回目の会議ということで、お忙しい中皆様お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。

また、東生駒の自治会の下山会長に新たに会員になっていただくということで、何とぞご忌憚ないご意見をたくさんいただきまして病院運営にお力をおかけいただきまますようよろしくお願いいたします。

先ほど事務局から説明がございましたが、この管理運営協議会は基本的に年3回ということでございまして、1回目がこの7月、前年度の状況調査というものが今日の議題になります。2回目を11月ごろに行いまして、今年度、令和元年度の前半期がどんな感じだったかという中間報告があります。1回目、2回目の前年度、そして当年度の前半の報告に基づきまして、来年度の令和2年度はどういう計画を立てて病院

運営をしていけばいいのかということ、会員の皆様にもいろいろとご意見をいただきまして、実際に次の年度の計画をまとめて3月にご報告をする流れになっております。

本日いただいたご意見というのは次の年度の計画、もちろん当年度の運営にも影響を与えるということにはなりますので何とぞよろしくお願いをいたします。

この管理運営協議会でございますけれども、医療関係者の皆様から公募市民、そして地元の自治会の皆様まで、本当に多様な皆様に集まっておりますけれども、それぞれのお立場から市民目線のご意見、地元のご意見、そして専門家の視点からのご意見をいただきまして、私や院長先生、それぞれの会員の皆さんがそれにかぶせる形でまたご意見をいただいたりというような形で進めていければと思っております。

当初は専門性の高い医師の先生と市民目線の議論がかみ合うのかなと思っておりましたが、非常にいい議論ができていのではないかと感じておりまして、私も会長の立場ながら、ここの司会をさせていただくことでいろいろと勉強させていただくことがたくさんございまして、そういう意味でも有意義な会になっていると思っております。

いずれにいたしましても、市立病院も開院5年目ということでございまして、患者数も手術件数も増え、一定、軌道に乗ってきたということで、院長先生初め病院スタッフの皆様にも心から感謝申し上げますとともに、まだまだ残された課題がございます。ここで出てくる意見も踏まえ、しっかりと改善をすることによってこの軌道をさらに安定させていくために協議会をしっかりと進めてまいりたいと思っております。

前向き、かつ、本当に活発なご意見をいただくことをお願いいたしまして、私からのご挨拶をさせていただきます。ありがとうございます。

それでは本日の議論、お手元の議事次第に沿って進めたいと思っております。案件は先ほど申し上げた昨年度、平成30年度の実施状況調査報告書について指定管理者から説明いただいた上で、会員の皆様からのご意見、質疑応答、しっかりと進めてまいりたいと思います。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、お手元にあります資料「平成30年度生駒市立病院実施状況調査報告書(案)」につきまして、説明を事務局からお願いします。

**【事務局(市)】** それでは、事務局からA3版の平成30年度生駒市立病院実施状況調査報告書についてご説明申し上げます。

まず、表の見方につきましてご説明いたします。

1枚めくっていただきまして、1ページをお願いいたします。

表の横軸でございますが、一番左端が病院事業計画の欄、右に向かって順に年度事業計画、事業報告、事業報告の補足説明、右端が取組の評価・課題の欄となっております。

次に、表の縦軸でございますが、1ページから4ページが診療科目・病床数等の基本項目、5ページ以降が病院事業計画のコンセプトごとに区分して記載してございます。

この資料の事業報告の補足説明の欄につきましては病院から、取組の評価・課題の欄につきましては生駒市から説明させていただきます。

それでは、病院から説明をお願いいたします。

**【事務局(指定管理者)】** 生駒市立病院の岸田でございます。

平成30年度事業報告について説明をいたします。

まず、1ページの「診療科目」でございます。

計画どおり診療科目については、16診療科でございます。さらに、補足説明欄にもありますように、平成30年7月からはレーザー外来におきまして赤あざの治療が、それと8月からはフットケアリハビリが、また12月からは小児アレルギー外来ができるようになり、診療の幅を広げました。

次に、2ページの「病床数」は、平成30年4月から許可病床210床をフルオープンし、5月1日からはHCU7床を稼働いたしました。HCUの3月末までの病床利用率につきましては84%となっております。

次に、3ページ「人員体制」をご覧ください。

3月末現在の医師は常勤換算で25.6名、うち常勤医師は19名となっております。常勤医師に関しては、グループ内転勤で内科1名、勤務希望者の募集及び後期研修医として形成外科2名が入職をいたしました。また、看護師は122.2名、その他といたしまして、薬剤師、理学療法士等を合わせまして112.2名、合計260名となっております。

ここで、先般の整形外科における患者制限につきまして、ご説明をさせていただきます。

整形外科ですが、今年に入りまして外来患者数が100名から120名、日によっては150名に増加しております。現在、週3日の外来で、終了するのが4時、5時となりまして、そのために病棟業務であるとか、診断書、意見書等の文書作成業務に支障を来す事態となっております。患者様方に変な迷惑をおかけしております。そのため、外来患者様の制限を6月の下旬から行っております。

事前に近隣の病院、クリニックの先生方にお伺いして、ご協力をお願いをしてまいりました。また、患者様の希望に沿って紹介をさせていただいております。また、非常勤医師を急遽採用いたしまして、7月から毎週木曜日と、7月27日からは土曜日月3回行っております。また、整形外科は1人常勤ですので、常勤医師も合わせて急募をしております。

それでは、4ページをご覧ください。

「患者数」につきまして、入院患者数は1日平均129.2名、外来患者数は1日平均211.6名となっております。年度計画と比較しますと、入院患者数は86.1%、外来患者数は110.2%の達成率となっております。また、前年度と比べ入院で1日平均8.9人の増、外来では36.7人の増となっております。

次に、5ページから6ページをご覧ください。

「質の高い医療の提供」では、手術件数は全科目の合計で1,345件となり、特に外科、形成外科、産婦人科等の手術の増によりまして、前年度と比べてトータルで180件の増となっております。

また、分娩件数につきましても156件であり、前年と比べ57件増加しております。また、市立病院で出産されたご家族が集います産科交流会を5月と12月に実施をいたしまして、合わせて76家族203名の参加がございました。

次に、6ページをご覧ください。

いわゆる、主要疾病4疾病でございますが、がんにつきましては、地域がん診療連携拠点病院との連携のもと治療体制を確保しております。脳卒中につきましては、近畿大学奈良病院、市立奈良病院、県総合医療センターとの連携のもと、早期に検査・診断ができる体制の確保をしております。心筋梗塞につきましては、緊急心臓カテーテル検査、またPCIが常時可能な体制を確保しております。糖尿病につきましては、かかりつけ医との連携のもと治療を実施しております。

また、患者満足度の向上のため、退院時に患者アンケート調査を実施いたしまして、補足説明欄記載のとおりのご意見を頂戴しております。

また、ご意見箱でいただきました意見と、それに対する改善の取組につきましては、1階の中央待合室に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載をしております。なお、ご意見箱の対応につきましては補足説明欄に記載しているとおりでございます。

次に7ページをご覧ください。

「医療における安全管理に対する取組」において、医療安全管理委員会が毎月1回、医療安全カンファレンスは毎週1回開催するなど、インシデント・アクシデントに関する事例の分析などを行い、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めてまいりました。

また、院内感染対策として、院内感染対策委員会を毎月1回開催するとともに、ICT合同カンファレンスをグループ病院と合同で偶数月に行い、ICTラウンドを毎週1回、感染勉強会を9月と3月に開催いたしまして、院内感染防止活動に取り組みました。さらに、院内感染対策に係る地域医療連携といたしましては、合同カンファレンスに2回参加しております。

8ページの「地域完結型の医療提供体制の構築への寄与」につきまして、在宅支援機能の充実として、医療連携登録医は3月末時点で67施設82名と前年と比べ9施設増加しております。そのうち市内クリニックが30施設36名、これは市内のクリニックの35%となります。また、協力医療機関連携施設は3月末時点で54施設、前年と比べ11施設増加しております。

また、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会に院長が参加するとともに、同協議会部会及び入退院調整マニュアル運用ワーキンググループへもメディカルソーシャルワーカーが参加をいたしまして地域完結型医療の体制の構築へ寄与しております。

また、医療教育プログラムにつきましては、8月に周産期救急講習（ALSO）が、12月には新生児蘇生法講習会（NCPR）が開催され、合わせて57名が参加をいたしました。

9ページをご覧ください。

「周辺の他の医療機関との連携」は、医療機器のオープン利用として周辺の医療機関に市立病院のMRIやCTなどを利用していただいております。利用件数は、MRIが261件、CTが95件、内視鏡が17件、エコーが18件の実績となっております。

次に、紹介、逆紹介についてですが、紹介率は33.2%、逆紹介率は14.4%、また市立病院が市内医療機関から紹介を受けた割合、すなわち市内医療機関の市立病院利用率は86%となっております。

次に、10ページの「救急医療の充実」についてご覧ください。

救急受入件数が1,865件、救急応需率は94.8%となっております。

補足説明欄ですが、救急車以外で当直時間に来られた患者様についてはウォークインとして集計をしております。月平均261.9件となり、前年と比べ、月平均で60.1件増加しております。

また、市内内科系二次、外科系一次二次輪番体制については、参加に向けて市内受入率の向上を目指しており、50%のバックアップ率となっております。

11ページの「救急に対する人員体制」につきましては、1名の時間外担当医と1名の常勤当直医の2名体制となっております。専門医によるオンコール体制をとるとともに、外来看護師2名から3名のほか、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員それぞれ1名の当直体制をとっております。

休日夜間の診療レベルは、CTやMRI、X線、血液検査全て対応可能となっております。加えて、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を整えております。

次に、12ページをご覧ください。

「小児医療の充実」では、常勤医師2名体制を目指し、1名は平成30年1月から着任しておりますが、もう1名の確保に努めている現状でございます。現在、北和小児科二次輪番体制への参加はできておりません。

「災害時医療の確保」は、4月27日に、医師、看護師、コメディカル、事務職など120名の職員と傷病者役としまして40名を超える自治会関係者の方々にご参加をいただき、トリアージ、患者受入訓練を主とした防災訓練を実施いたしました。

また、12月26日には消防訓練を実施し、3月29日には市内等病院意見交換会に参加をいたしまして、災害対策の取組の現状、課題等について意見交換を行いました。

次に、「予防医療の啓発」でございます。

疾病予防機能の強化といたしまして、市民の疾病予防を目的とした医療講演会を50講座開催し、180名の参加がありました。また、健診につきましては、補足説明欄に記載しておりますように4,711件となっており、前年度と比較いたしまして1,190件増加しております。

13ページの「市民参加による運営」では、市民交流事業については、開院時から開催している健康フェスティバルを平成30年度も開催し、約400名の参加をいただいております。

「環境に配慮した運営」において、市の環境マネジメントオフィスの取組として、資源ごみの分別収集を強化するとともに、院内での省エネルギー化に努めてまいりました。

最後に、14ページをご覧ください。

医業収入と医業費用を差し引きました医業利益は、計画の5,806万8,000円に対し、マイナス4,911万9,000円であり、計画に対して1億718万7,000円のマイナスになっております。

医業利益からその他費用、医業外収益、医業外費用を差し引きました経常利益につきましては、計画の4,468万8,000円に対しましてマイナス2,717万円であり、計画に対して7,185万8,000円のマイナスとなっております。

**【事務局(市)】** 続きまして、市から取組の評価・課題についてご説明申し上げます。

それでは、1ページに戻っていただきたいと存じます。

まず、「診療科目」では、従前から課題となっておりました「専門外来の開設」につきましては、平成30年12月から、小児科でアレルギー外来を開設いたしました。

また、「より高次、専門性の高い医療機関との連携」につきましては、近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターと連携しております。

また、診療科目につきましては具体的に今回の課題として、今後も市内の医療ニーズや患者動向に注視しながら常勤医師の確保をはじめ、医療機能の充実を図る必要があるとしております。

次に、2ページの「病床数」では、課題となっておりました小児科の常勤医師の増員はできなかったものの、入院医療に対応できる内科の常勤医師を確保し、結果として内科の入院患者数が増えました。

病床利用率の向上につきましては、課題として、病床利用率をさらに向上させるた

めにも不足する診療科の常勤医師の確保が必要である。また、新入院患者の増加を図るため、病病連携及び病診連携をさらに進める必要があると具体的に記載しております。

3 ページの「人員体制」では、従前から課題となっておりました脳神経外科の常勤医師の確保及び小児科の常勤医師の増員に、産婦人科の常勤医師の増員を追加しまして、より具体的に二次救急医療を充実させるため脳神経外科の常勤医師を、周産期医療を充実させるため産婦人科の常勤医師を、また小児救急医療を充実させるため小児科の常勤医師をそれぞれ確保・増員する必要があるとしております。

次に、4 ページ「患者数」では、従前から課題となっておりました常勤医師を確保して治療が可能な症例を増やすことにつきましては、内科の常勤医師の確保によって治療が可能な症例が増え、入院・外来患者数はともに増加しており、また地域の医療機関との病病・病診連携や救急患者の受け入れにつきましては引き続き課題としております。具体的に課題として、外来患者数は計画どおり順調に、

伸びている一方、入院患者数が計画に比べ伸び悩んでいることから、救急受入体制の充実や地域の医療機関との病病・病診連携をより一層進める必要があるとしております。

次に、5 ページから6 ページの「質の高い医療の提供」でございますが、従前から課題となっておりました低侵襲の検査・治療の提供体制の充実につきましては、肺がんの胸腔鏡下手術など手術範囲の拡大、手術可能な症例が増え、低侵襲な外科的手術件数が増加していることを評価とさせていただいておりますが、引き続き課題としまして、低侵襲な手術等の充実を図るとともに、今後も心臓カテーテルやP C I等の増加を目指し、医療体制の充実に努める必要があるとしております。

従前から課題となっておりました「主要疾病に係る医療体制における他病院との連携体制の整備」につきましては、評価としまして、がん治療に関しては外科手術後の放射線治療など地域がん診療連携拠点病院との連携が行われている。脳卒中については、近畿大学奈良病院、市立奈良病院、奈良県総合医療センターと連携し、早期に検査・診断できる体制を確保している。急性心筋梗塞については、内科的治療は行っており、外科的治療が必要なときは近畿大学奈良病院の心臓血管外科との連携が行われているとしております。

7 ページの医療安全管理に対する取組につきましては、評価としまして、院内感染対策に係る地域医療連携として、市内他病院を中心とする合同カンファレンスに参加し、市内等病院間の相互理解や情報共有を行うことで病病連携を強化しているとしております。

また、課題としましては、入院・外来患者の増加に伴い、不特定多数の患者が集中する外来での感染症患者の見極めや院内感染の防止等、引き続き医療スタッフのみならず病院スタッフ間での情報共有・連携が必要であるとしております。

続きまして、8 ページ「地域完結型の医療体制構築への寄与」については、従前からの課題でございますが、地域の医療機関との連携につきまして引き続き課題としておりまして、具体的に退院支援チーム等により入退院支援が行われており、また医療連携登録医及び協力医療機関連携施設等からの患者の紹介や救急受け入れが行われているが、さらに在宅支援機能を充実させるためには地域の医療機関との連携強化を図る必要があるとしております。

また、地域医療機関への医療教育プログラムの充実につきましても引き続き課題としてございまして、具体的に地域医療機関を対象にした医療教育プログラムなど、市内全体の地域医療の発展に寄与できるように対象者が広範囲なプログラム等の提供を



検討する必要があるとしています。

次に、9ページをお願いいたします。

評価としましては、地域医療連携室の職員体制が充実したことや、地域医療連携室職員と医師や看護師との連携により積極的に患者情報を把握し退院前カンファレンスを実施したことにより、入退院時の情報交換がスムーズに行われているとしております。課題としては、より具体的に地域医療機関との病病・病診連携の推進、紹介患者の増加のためには医師会との連携は不可欠であり、引き続き入会審査に対応していく。また、患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ちついたら、必要に応じて地域の診療所に逆紹介していく必要があるとしております。

10ページの「救急医療の充実」では、課題となっておりました北和産婦人科一次救急医療体制への参加につきましては、将来的に参加要請に対応できるよう産婦人科の常勤医師の確保に努め、市内内科系二次・外科系一次二次、北和小児科二次各輪番体制への参加につきましては引き続き課題としております。具体的に市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップに努めており、引き続き関係機関へ協議を進めることで輪番体制への参加を実現していく必要がある。また、北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、小児科の常勤医師の確保のため引き続き努力が必要であるとしています。

次に、11ページをお願いいたします。

従前から課題となっておりました医師2名の当直体制は実施されております。また、常勤医師の増員によるオンコール体制の充実につきましては、具体的な課題としまして、当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科、整形外科の常勤医師を確保する必要があると記載しております。

12ページ「小児医療の充実」は、引き続き、小児二次医療の充実や小児救急の実施に向け、引き続き常勤医師の確保に努める必要があることを課題としています。

次に、下の段の「災害時医療の確保」ですが、災害時医療の確保につきましては、防災訓練を地元自治会関係者等と行い、医療救護体制の整備に努めていることを評価しております。課題としまして、災害対策マニュアルに沿って定期的に訓練を行い、生駒市で災害が発生した場合の医療救護体制を整えているとしています。

また、事業報告欄に記載がありますが、災害時の医療救護体制につきましては、市内等病院意見交換会に参加していますが、課題といたしまして、今後も大規模災害を想定し、市や医師会をはじめとする市内医療機関との情報共有の場に引き続き積極的に参加する必要があるとしています。

「予防医療の啓発」につきましては、医療講演会が幅広い内容で定期的開催されていることや、出張講座にも取り組み、市民との交流、健康づくりの推進に努めていることを評価としています。課題としまして、市民の公衆衛生意識の高揚を図るためには、院内の講演会の充実と、誰もが参加しやすい日時を考慮した出張講座の展開も必要である。また、市民健診においては、二次健診の充実を目指し各医療機関との連携を強化していく必要があるとしています。

最後に13ページをお願いいたします。

「市民参加による運営」につきましては、評価としまして、入院患者アンケートを実施することにより患者の意見を集約し、それに迅速に対応することで患者満足度の向上につなげていく仕組みができているとしています。課題としまして、入院患者対象のアンケートに関しては、治療内容、職員対応・サービスなどのソフト面や設備・環境などのハード面に加え、病棟などの部署ごとにさらに絞り込み分析することで、

より質の高い医療・看護ケアにつなげていく必要があるとしています。

「環境に配慮した運営」及び「院内保育所」につきましては、前回と同様に課題はございません。

以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

**【小紫会長】** それでは、具体的には項目ごとに質疑応答を進めていきます。最後に総括の質疑という時間も設けますが、項目ごとにご意見があればその都度いただければと思っております。

それでは、1 ページ目、診療科目の項目につきまして、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、2 ページ目の病床数につきまして、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

はい、城谷会員、よろしくお願い致します。

**【城谷会員】** 少し専門的なことですが、10対1看護基準とありますが、7対1、10対1とか言わずに、急性期一般入院基本料が7段階に分かれるようになりましたが、今後はどういう方向性でなされる予定でしょうか。

**【遠藤副会長】** 看護体制というのを語るときに、どうしても経営を中心に考えるようですが、夜に看護師が病棟に2人とか、3人しかないという状況を改善したい。つまり、看護師の全体の数を増やしたいというコンセプトがあって、やはり今は昔と違って、夜にうろうろする患者様が多いのですね。私は外科ですが、外科の患者様でけがのケアをするための看護師はそんなに要らないのですが、外科の病棟で外科の処置の患者様以上にうろうろする人をケアする看護師が非常に必要な状況なので、看護師を増やすにはどうしたらいいのだろうと思って、7対1。7対1というのは、結局患者様に対しての看護師数ということになりますので、それを目指すという意味合いのほうが強いですね。経営的にはまた話は違いますが、本当にここで大きな声を出したいという感じですけど、看護師が少ない病院は本当に大変なのです。市立病院はかなり充足されているのですが、さらにもっと充足したいと思ひまして、こういう方針を出しているということです。

**【城谷会員】** おっしゃっていることはよく分かります。ただ国は看護必要度とか重症度とかいうことを求めるので、急性期病院としては7対1が望ましいのですけれど、それをなかなか維持していくのは難しいですよ。

**【事務局(指定管理者)】** 重症度の数字としましては、6月、1カ月では31.5%。あと平均在院日数は、直近4、5、6の3カ月で17.0日ということです。あと要件は看護師の数だけなのですが、ちょっと4月では無理だったので、9月以降に向けて充足をさせたいと思っております。HCUも7床だったのですが、7床でも8床でも看護師の数は一緒なので、7月1日付で7床から8床にしまして、そのかわりに4階西病棟1床減らさせていただいたということになっています。

**【城谷会員】** お互いなのですけど、ぜひ工夫してうまくやっていただければと思っています。

**【小紫会長】** ありがとうございます。ほかに病床数のところでご意見ございませんでしょうか。

それでは、次の3ページ目の人員体制につきまして、ご意見、ご質問、いかがでしょうか。

森岡会員お願いいたします。

**【森岡会員】** 課題の中でも言われているように、脳神経外科、産婦人科、小児救急の充実ということで、常勤医師を増やすという課題が、なかなか難しいけれども言われています。小児科も常勤医師が平成29年度と変わらないですが、小児アレルギー外来を新しくされています。週1回ということですが、こういう小児アレルギーだとか、小児科に限りませんがそういうような専門外来も増やしていくということは、常勤医師の確保が非常に難しい中では、有効なポイントになるのではないかと思います。病院のほうではどう思っておられるのか、お聞きできますか。

**【遠藤副会長】** 森岡会員が言われたように、一つの病院にたくさんの医師がいることがベストなのですが、なかなかそういうことができないので、確かに部門、部門で非常勤の医師をとすることは非常にいい考えです。例えば、消化器内科は今、グループ病院からですけれども週に1回、例えば非常に高度な内視鏡的な手術をしていただけるような医師に来てもらっています。それと、ここには出てきませんが、今年の4月には救急科医師が1人、6月には内科医師が1人というように少しずつ常勤が増えまして、非常勤医師の確保、非常勤医師による例えば糖尿病外来であったり、そういう専門外来を増やしていくということと、それから常勤医師も増やしていくと、今2本立てでやっております。

産婦人科でも、ちょっと今当たりがついているようなところもありますので、次の会議にはいい報告ができるのではないかなと思います。

**【小紫会長】** 人員体制についてよろしいでしょうか。

それでは、次、4ページ目の患者数について、ご意見、ご質問いかがでしょうか。

はい、それでは下山会員お願いします。

**【下山会員】** 私は、病院の近くに住んでいるのですが、これだけ外来を受けられているというのを正直知らなかったです。ですので、まだまだ市民の方、近くの方もそうですけども、これだけ外来体制が整っているということを存じてない市民がすごく多いと思うのです。もちろん、「これだけやっていますよ」と、なかなか周知って難しいかとは思いますが。私は小学生、中学生の子どもがいるのですが、いざ病気になったとき生駒市立病院で診てもらえるというのを認識していない状況があるかと思うのです。まず、「市立病院に行ったらいい」という形にもっともっとなっていければいいかなと。具体的にどうしていこうというのはなかなか難しいかと思うのですが、一市民としてはそういう状況があるというのだけご理解いただければなというのが率直な意見です。

**【遠藤副会長】** ありがとうございます。情報発信という意味ではホームページを作っています。それから、年に1回健康フェスティバルを開催しています。これからだと冬のクリスマスには、3メートルぐらいある大きなツリーを玄関ロビーに飾って、歩く人から見えるようにしたり、クリスマスコンサートもあつたりします。そして「病

院だより」を8月に出しますので、そういうのをどんどん広めていければなと思っています。基本、宣伝はあまりしてはいけない業種ですので、テレビとかでコマーシャルできません。今、下山会員に知っていただくだけでも、これは一つ効果があったなと思いますので、よろしくお願いします。

**【小紫会長】** ありがとうございます。市でも年に1回、まとめてこういう患者数が増えたとか、医師が増えたとか救急対応が、病院ができる前よりも大きく変わりましたとか、そういうのはメディアに発信したりしています。指定管理をお願いしているのであまり市が広報をしていいのかとか言う人もいますけれども、基本的には市でもそういう情報発信というのはしっかりやっていきたいと思いますということは今日も職員と話していたところでした。そういうような形でしていきたいと思っています。

下山会員からもいろんな方に口コミをお願いします。それが一番大きいかと思います。

患者数のところ、よろしいでしょうか。

それでは、続きまして5ページから7ページまでまとめて一括して、質の高い医療の提供ということで、何かございませんでしょうか。

はい、山上会員、お願いします。

**【山上会員】** 分娩件数が増えています、常勤医師がいまだに1人ということで、どのようにされているのか。一応オンコール体制でやっておられるのかなと、疑問が起こったのでお伺いできますか。

**【遠藤副会長】** 常勤医師は1人で、年齢も高いというところで非常に不安になるかもしれません。オンコールを組むのですが、オンコールが組めない日は非常勤の医師が当直しています。ですから、年に何日ぐらいになるのかな。

**【事務局(指定管理者)】** 月に10日ぐらいです。

**【遠藤副会長】** 月に10日ぐらいは非常勤医師が院内に宿直していますので、1人常勤ですけど、かなりの医師が市立病院に出入りされています。

それと、もしかしたら次の報告では2人になるかもしれません。

**【小紫会長】** ほかによろしいでしょうか。では、森岡会員。

**【森岡会員】** 5ページのダ・ヴィンチの手術の件数について、数日前にダ・ヴィンチの前立腺がんの手術のTV放送がされていたと思うのですが、今後の対応症例は前立腺がんのみになるのか、今後どういう方向、どういう症例に広げていこうと思っておられるのか、あるいは今現在どういう症例に対応できるのか、教えていただければありがたいです。

**【遠藤副会長】** まず、当院で今できるのは、前立腺がんだけです。ただ、今保険的に外科の手術であったり、または婦人科の手術であったりがどんどん認められてきています。徳洲会のグループ病院で、私は外科ですけども、外科のグループでは技術認定医が何人も出てきていますので、将来的にはそういう医師が市立病院に来る、または指導に来て、新しい医師がくればそうやって鍛えていってここでもやれるという体

制にしていきたいと思っています。ダ・ヴィンチという医療機器はありますので、そちらのほうはいつでもやっていけるのかなと。

ただ、今の人員では少し無理なので、今後どんどんほかのところでできるようになってきたときに導入していこうかというようには思っています。

先ほど下山会員が言われたようにアピールが少なく、去年パンフレットをつくって今配布している段階です。どんどんこれを周知して件数を増やしていこうかと思っております。

**【小紫会長】** エレベーターにもダ・ヴィンチの案内が掲示されていましたね。それでは、佐野会員お願いします。

**【佐野会員】** 感染予防に関するところで、針刺しの医療事故が1回ありましたね。あれ以降起きてないようですが、そういうときにやはり気が緩んだりとか思うので、本当のチェック体制の強化とかを図っていただいて、より安心できるものに努めてくださるととてもありがたいと思っています。

**【遠藤副会長】** かなり厳しい感染対策の職員がいます。非常に厳しいです。この間、麻疹患者が当院の外来に来られたときに保健所とのやりとりとかで、遅れないでできたのですが、そういうことがやはりありますので、常に緊張感を持って、外来等では熱のある方は道線を変えて診るようにはいまだにずっとしております。

**【佐野会員】** あと、医療従事者のほうの針刺しとかも気をつけられたほうがいいかなと思って。そちらも気をつけていかれたらいいかなと思いました。働いている方が安全に健康に。麻疹の感染にしてもそうですけども。

**【小紫会長】** ありがとうございます。それでは、城谷会員お願いします。

**【城谷会員】** 少しもとに戻りますが、分娩件数は約1.5倍になっているわけです。これは相当出生率が下がっている現状で、すごく優秀な数字だと思うのです。大きな工夫をなさったのではないかと思うのですが、例えば増えた57人というのは若い世代が増えたのですか。それとも、やはり高齢出産が増えたのかということと、何かすごい大きな工夫をなさったのか、ちょっと教えていただければと思います。

**【事務局(指定管理者)】** 生駒市立病院で第1子を出産された方が、第2子、第3子の出産をされる。リピーターが増えてきています。また、お母さん方でフェイスブックをしておられて、そこで発信されているようです。それと外国人の方の出産が結構あるのです。産婦人科病棟には英語が話せる助産師もおりまして、安心して分娩ができるような体制を敷いているからかなと思います。

**【城谷会員】** すばらしいと思います。すごく大事だと思いますよね、そういうSNSというのは今の時代。リピーターというのはすごく大事で、生駒市の年齢分布が少しでも変わればありがたいと思います。ありがとうございました。

**【小紫会長】** ありがとうございました。  
ほかに5ページ目から7ページ目、いかがでしょうか。

よろしいですか。それでは、続きまして、8ページと9ページをワンセットにして、地域完結型の医療体制構築につきまして、ご意見ございますか。

はい、山上会員。

**【山上会員】** 8ページの生駒市医療介護連携ネットワーク協議会に関連しまして、医師会でも多職種連携というのをしております、その協議会に生駒市立病院のソーシャルワーカーの方とか看護師の方とか参加していただけるので、グループミーティングみたいなのをやりますので非常に密接なお話ができる会になっております。お忙しいと思いますが、今後もできるだけ参加していただいたら医師、看護師以外の介護の方との関係もよくなると思いますので、できるだけ出席ができるような体制をとっていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

**【小紫会長】** ありがとうございます。山上会員には大変このネットワーク協議会ではお世話になってます。またぜひ今まで以上に連携させていただきますようによろしくお願ひいたします。

ほか、8ページ目、9ページ目ございますか。どうぞ。

**【山上会員】** 9ページ目で、専任の職員が医療機関を訪問して地域医療機関のニーズを把握したというように書いていただいているのですが、具体的にどのようなニーズを拾い上げていただいたのだろうかということが分かればと思います。

**【事務局(指定管理者)】** 地域連携室には看護師1名と、社会福祉士が2名、非常勤職員が1名と、今月からですが新入職員を2人配置しました。言うほど回れていないので、もっと積極的に回りまして、ニーズですね、どういうことの診療科であるとか、紹介するときに関しては、やはりそれぐらいの患者の状況把握をいち早くして検査なり入院なりにつなげるというのは積極的にしたいと思っております。

**【山上会員】** 市内の病院では必ず各診療所を回っておられる病院もたくさんありますので、やはりそういったことをやらないと、なかなか患者様をご紹介いただくというのは難しいかと思ひます。特に地域医療連携室というのは大事で、私どもの医院でしたら受付の事務ですね。医療関係者がしっかりしているよりも、事務員がしっかりしている病院のほうが何かしっかりしているように感じます。私は、三十何年医者をしていまして、やはり電話なり応対のしっかりしている、事務員がしっかりしている病院はしっかりしていると思ひます。本当にこれは間違ひない。それは事実じゃないかなと思ひますので、地域医療連携室のほうはしっかり充実させていただけたらいいかと思ひます。

**【小紫会長】** 貴重なご意見ありがとうございます。それこそそういうご意見をいただいたことをまた次の管理運営協議会で報告したり、改善したり、計画に入れ込んでいったりしていきたいと思ひます。

8ページ目、9ページ目よろしいでしょうか。

それでは、続きまして救急医療の充実ということで、10ページ目と11ページ目、合せてご意見はございますか。

佐野会員、お願ひします。

**【佐野会員】** 先日友人が、調子が悪くなりまして、救急である病院で診てもらったとき、とても対応が悪かったらしいのです。その後生駒市立病院に来たときに、こちらもたくさん患者様がいらっしゃったのですが、「とても対応がよかった」とすごく評価してしまっていて、その方がまたいろんな方に広げるのですね。いろんな話を。ですので、山上会員のお話にあったように、事務の方の対応というのがすごく大事だなと思いますし、対応がもしできなくても、その方が言うには、優しく例えば「午後はちょっとだめだからほかの病院のどこそこへ言ってください」って紹介してもらえるとすごくありがたいと言われていたので、そういうのが大事かなと思いましたので、今日お伝えしようと思いました。

**【小紫会長】** ありがとうございます。そういうお言葉をいただくのは大変ありがたい。ご友人の方はもうお元気になられているのでしょうか。お元気になられていたのであれば、さらに口コミを広げていただくようによろしくお伝えください。

救急応需率も95%近いということで、非常に救急に関してはいい形になっていると思います。

10ページ目、11ページ目、ほかに救急の箇所でございますか。

それでは、続きまして12ページ目で3項目、小児医療、災害時医療、予防医療、この3点まとめて、ご意見、ご質問ありますでしょうか。

それでは、続きまして13ページ目、市民参加、環境配慮、あとは院内保育所、この3つにつきまして、13ページの関係で何かございますか。

では、佐野会員お願いします。

**【佐野会員】** 院内保育が直接職員の増加とかに関わることかちょっと分からないのですが、特にお医者さんで、女性の医師で結婚されていて、非常勤であればできるけれど常勤は難しいみたいな方がたくさん眠っていらっしゃるような気がしています。夜間も保育できるとか、休日保育ができるというところが強みだと思うのですね。なので、これを宣伝していかれるのも一つの手かなと思いました。

**【事務局(指定管理者)】** 先月、今月と、配偶者がアメリカへ留学されたときに一緒に渡米された女性医師、以前生駒市立病院にもお勤めになられていた産婦人科の医師なのですが、お子さんをアメリカで出産されて夏休みの間こちらへ帰られているので、2カ月間週2回この保育所でお子さんを預らせていただいで、非常勤で勤めていただきました。

今、佐野会員がおっしゃったように、やはり女性医師の活用というのは今後非常にどこの病院も考えておりまして、東京では麻酔科とか小児科とか女性医師が多い診療科で、週3日ずつお二人で、それで週6日というような形で、採用を進めている病院が多いということと、大学も非常勤になると辞めないといけない、医局を外れないといけないということがあって、その間、病院に非常勤できていただいで、お子さんが学校へ行き出すとまた大学へ戻るという取り組みをされている病院もございますので、そういうのは募集の中でアピールポイントかなと思っております。

**【小紫会長】** 貴重なご意見ありがとうございます。

それでは、13ページ目、ほかにございますか。

それでは、一通り見てきましたけれども、ちょっと言い忘れたとか、何か項目にまたがったの包括的なお話でありますとか、ご意見、ご質問ございましたらと、思いま

すが、いかがでしょうか。

それでは、城谷会員。

**【城谷会員】** 「やまと西和ネット」のことを少しだけ申し上げたいと思うのですが、「やまと西和ネット」は、生駒市域の住民の医療情報と介護情報をいろんな病院や診療所や歯科医院、それから介護施設、調剤薬局などを通じて共有しようという試みなのです。先ほど森岡会員がおっしゃいました小児アレルギーに力をもし入れるとすると、お子さんはいつけがをして救急車で外科系の医療機関に運ばれるか分からないという状況もありますので、もし小児アレルギーというのがあるのですしたら、お子さんこそ登録されると、卵アレルギーがあるとかそういうことがネットで分かるようになるのですね。行ったところで間違った食事が出たりしないということにもつながります。卵アレルギーがあるとお好み焼きだって危ないわけですから、そういうようなことに役立てることもできると思いますので、今、我々は家族ぐるみで入ってくださいと言っているのです。もし可能であれば小児アレルギー外来などで、ぜひ家族で入られたらどうですかという勧め方もできるのではないかと思います。介護だからといって、何か高齢者ばかりに方向性を向いているのではなくて、やはり全年齢層で役に立つシステムだと思いますので、ぜひそこら辺も強調いただければ思っております。よろしくお願いします。

**【小紫会長】** どうもありがとうございます。9ページが一番下に「やまと西和ネット」のことが書いてありますけども、近畿大学奈良病院で非常に熱心にやっていたいただいておりまして、市としても、市立病院としても連携協力させていただいておりますけれども、今、城谷会員からあったような話も含めまして、また生駒市立病院、生駒市のほうでもできることをさらに考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ほか、全体の意見とか何か、いかがでしょうか。はい、山上会員どうぞ。

**【山上会員】** 資料をいただくときに、最初にいただいたものからまた変わりました、ということになりますと、最初見たものどどこが変わったのかなと思いますので、できたら変えないほうがありがたいです。変えたところがあれば、事前に少し説明をいただいたら分かりやすいかなと。これは市のほうの資料をいただくときいつも思うのですけど。よろしくお願いします。

**【事務局(市)】** 今後気をつけて対応させていただきますので、申し訳ございませんでした。

**【小紫会長】** その辺はしっかりと。早くお渡しするというのと、あとその後変わっちゃうということのバランスみたいなのがあるのでしょうか、修正点等がある程度分かるような形で。なるべく変えない方向ではもちろんなのですが、そのあたりはしっかりとやっていきたいと思っております。

それでは、今日はいろんな貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。冒頭挨拶で申し上げましたけども、いい形で来ているところがございますし、これは30年度の報告書なのですが、また令和元年度に入って大きく改善されているところ、医師の確保等も含めてありますけれども、会員の皆様からいただきましたご意見で、確かにまだ課題だなというようなところも今日も幾つかあったような気がいたし



ますので、そのあたり、今年度の運営と来年度に向けて改善していく部分ということで、また計画のほうでも反映して、運営の改善のほうにも反映させていけたらなというように思っております。

#### 4 その他

**【小紫会長】** ほかに特に会員の皆様、ご意見はございますか。それでは、事務局から何かありますか。

**【事務局(市)】** 本日は皆様ありがとうございました。本日ご意見をいただきました平成30年度の実施状況調査報告書につきましては、9月の生駒市議会において報告をさせていただきます。

それから、先ほど市長からの挨拶にもありましたが、次回の会議は11月頃を予定しております。中間報告、今年度の上半期の実施状況調査を行わせていただきますので、どうぞ皆様よろしく願いいたします。

本日はまことにありがとうございました。

#### 5 閉会

**【小紫市長】** それでは、ほかにないようでございますので、本日の協議会はこれでおしまいとさせていただきます。

遅い時間、本当にどうもありがとうございました。今後とも何とぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

— 了 —